

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 8名回答、回答率 100%

保護者様： 13名回答、回答率 76%

職員の意見

○環境・体制整備

広い訓練室なので児童が体を思いきり動かして活動を行うことができる。

運動スペースと勉強スペースを分けている。トイレに段差はあるが、児童が使用するのに問題はない。

○業務改善

本社での研修の他、教室内でも研修も行っている。個々に振り返りシートを作成し、目標と振り返りを上司と共有するようにしている。第三者評価については今後行っていく予定。

○適切な支援の提供

役割分担をしながらチーム一丸となって行っている。ミーティングでも話し合いの機会を定期的に設けている。活動に関しては計画だけでなく反省点も含めて話し合いを持っている。前もって活動案を毎月考え、児童にあった療育道具を使ったり活動の度合いを決めたりしている。分担を決めて職員の動きの効率化に努めている。

○関係機関や保護者との連携

児童に変化があり連携での対応が必要な場合となった時には適宜ミーティングを行い正確な情報共有に努めている。学校へお迎えに行く際には下校時刻表を受け取るケースもある。児童館などと交流する機会を作っていきたい。今年度は24時間テレビの募金に参加した。

○保護者への説明責任等

送迎時に一日の様子などを伝えている。連絡帳のコメントに返したり会話を通して児童の様子を伝えている。保護者からの相談に関して、事業所内で話し合ったり、専門職員に助言を求めたりして、適切に支援できるようにしている。

○非常時等の対応

毎月避難訓練を行っている。現状アレルギーの児童はいないが、全児童のアレルギー一覧を貼り、職員が把握できるようにしている。ヒヤリハットにおけるミーティングを適宜行い、改善策について全員で共有している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

子どもの活動等のスペースが確保されていて、職員の配置数や専門性も適切である。バリアフリー化の配慮については、トイレに段差があるが問題ない。

○適切な支援の提供

放課後児童クラブや児童館の交流や障害がない子どもと活動する機会はないが、活動プログラムに関しては満足している。支援計画はニーズや課題を客観的に分析して作成していると感じている。

○保護者への説明等

面談や育児に関する助言等の支援も行われている。日頃から子どもの状況を伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共有理解ができている。苦情があった場合、迅速かつ適切に対応している。

○非常時等の対応

緊急マニュアル等の説明、避難訓練の実施はきちんと行われている。

○満足度

どちらとも言えないという回答も見られたが大半の保護者が子どもが通所を楽しみにしていると回答し、満足してくれている。男性指導員がいる日が増えると嬉しいという意見があった。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

保護者に協力を要請して各種関係機関と緊密な連携の取れる関係を構築する。長期休みを利用して地域の施設(学童・図書館等)とのかかわりを増やしていく。

○改善できた点・まだ残る課題

気になる点がある児童に関しては学校の先生、保護者と支援会議を行った。長期休みには24時間テレビのチャリティー募金に参加することができた。図書館等地域の施設との関わりについてはまだ行えていない。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

訓練室が広いので児童が体を思いきり動かして活動を行うことができる。

運動スペースと勉強スペースを分けて、児童の特性に配慮した対応をすることができている。毎日ミーティングを行う中で職員一人ひとりが意見を言い合うことができる環境で、よりよい活動立案に努めている。

保護者にその日の児童の様子について送迎時や連絡帳で細かく報告をし、自宅での様子との共通点や違いについて共有し、保護者に寄り添い、児童の成長に関わることができるよう努めている。

○改善点

社内研修を増やして専門知識の向上を図りたい。

図書館等地域施設との関わりを沢山もつことができるようにしたい。

学校や他事業所との連携をより深くもって児童の支援を行う。

放課後児童クラブ等と交流を持てるような活動や他事業所との連絡、事業所の取り組みを地域にアピールする必要がある。



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

事業所内、教室内研修だけでなく外部研修にも積極的に参加することにより、専門的知識の向上を図る。

関連機関との連携を図り、児童への支援を充実させる。

地域の中のひとつの施設としての取り組みを充実させ、周知していく。

○1年間で取り組む具体策

長期休みを利用して、図書館等地域の施設へ子ども達と行き、交流を図る。

より多くの児童において、保護者に協力を要請し、関係機関と緊密な連絡が取れる関係を構築する。

保護者会だけでなく保護者参加型の活動を行うことにより、保護者同士の交流を図っていく。

スマートキッズ